

製造業

- ◇パン…10月から小麦粉はじめ、色々なものが値上がりする。業界としては色々対応していくことにしているが、厳しい時代が続くと思う。
- ◇酒…8月の課税移出数量は前年比90.4%と前年比マイナスに転じている。特定名称酒は堅実な伸び。また輸出免税数量は毎年増加しており好調。焼酎乙類は落込傾向にあったが8月は100.5%と回復。国際空港免税エリアでの國酒キャンペーンが10月からスタート。清酒小売価格について、大手が10月からの値上げを発表(原料米の価格上昇・資材の高騰により2~7%)。当県では一律値上げではなく、特定名称酒等の付加価値の高い商品が値上げの対象と考えている。
- ◇納豆…業界としてはまだ売上が伸びているが、大手が伸び、中小は減少というのが実情で、その格差はますます広がっていると思われる。
- ◇菓子…当月は彼岸・お月見があり、和菓子店にとっては書き入れ時であった。客足も良く、売上はあんな物中心に伸びたが、他の商品もますますで全体的に見ると景況は保合であった。
- ◇繊維製品(袋物)…9月は全体的に見ても各社受注もあり売上は増加の様子。収益も好転。このまま続いてほしい。
- ◇繊維製品(縫製)…新規案件需要に期待しているが、なかなか伸展が見られない状況。受注量は前年並み。残業時間は減少している。
- ◇木材…大手ハウスメーカーは消費税の駆け込み需要で、加工先のプレカット工場は忙しい状態が続いているが、地場の工務店は現状維持が殆どで、販売店は増改築の細かい仕事を中心。国産材原木市況は、丸太出材が減少、8~9月の2ヶ月で杉丸太2000円、松丸太2500円上昇し、製品価格の引上げが急務となっている。
- ◇プレカット…9月は前月よりも稼働日数も多いため、目標をほぼ達成。10月も中旬まで予定が入っており順調。10月からまた資材の値上げが始まった。
- ◇段ボール…海水温が下がらず、しらす、サンマの水揚げ量が例年より少ない。住宅関係は忙しくなってきたが、製造業はまだ忙しくない。組合員の中でも良いところ悪いところに分かれている。年末に向けての材料の値上がりがありそうで心配である。
- ◇プラスチック…ヴァレオナイルスからナイルスの名前が無くなるという話も本格化してきた。ヴァレオの海外生産比率は今後も高まるものと予想され、非常に厳しい状況である。

- ◇焼物…夏場を過ぎた頃から、お客様の移動が多くなってきていると感じる。秋の行楽シーズンを迎え一人でも多くのお客様に来ていただけるよう頑張っていきたい。
- ◇鍍金…売上は前月より1割程度増加、前年比では同程度であった。建築関連部品は好調だが、自動車、建機、機械、電気製品部品等は低下している。金属材料価格については安定、工業薬品は若干値上がりの傾向。電気代の値上がり及びガソリン・燃料費の上昇は相変わらず経営を厳しい状況にしている。
- ◇電化機器…当月の生産高は、対前年同月比で51百万円(6.0%)増となる890百万円。上半期では前年度より△56百万円(△1.1%)の状況。当月は、自動車・家電部門共に対前年度、前月比でプラスとなったが、下請事業所における受注にはバラツキが見られる状況である。
- ◇自動車部品…長期的な予想では、後期に入れば全体として生産高が持ち直すと予想されていたが、依然低迷の状態で行き先が不透明である。
- ◇工業団地(農機部品)…組合員7社中5社が売上増で、全体では前年同月比121%と、得意先の販売好調に同調し売上増となった。9月はCSRの一環として実施しているISO14001の4回目の更新審査月間であったが、活動も定着化しており生産量増加の下であるが無事認証継続の評価を得た。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメントの出荷袋数は前年同月比3%の増加。全体的に低調な中で、道路補修工事が発生、増加となった。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比5.03%増。毎月第2土曜日に朝市を開催。水産仲卸店舗・青果仲卸店舗・関連店舗を一般開放して市場の活性化に努めている。
- ◇食品卸売…野菜全体では前年に比べ単価が2割近く上昇し、物によってはそれ以上の単価高にて推移。8月の猛暑、9月の台風の影響による生育・収穫の遅れや品質の低下によって品不足となり値上がりが起こったと考えられる。
- ◇県南地区卸売…売上高は前年同月に対し減少。収益は悪化。
- ◇県北地区共同店舗…不振店が増え続け、堪えるように説得するも競合激化の上、消費増税が追い討ちとなりもはや撤退相次ぎムード。一度不振に陥ったSCが景気回復を実感するまでの道のりはあまりにも遠くマラソンのゴールを目指すようなも

- のかもしれない。
- ◇**県央地区共同店舗**…退店届が2件あり、出店が追い付かない状況であるが、来春、ディスカウントスーパー開店が決定した。
 - ◇**県南地区共同店舗**…上半期最終月は、前年比売上高が最低を記録。前月、文化品店舗の退店があり大きく減少。全体的に近郊商圏の変化が一番影響している。
 - ◇**家電**…残暑が続き、エアコン需要は若干見られたが、売上を押し上げるまでにはなっていない。テレビ、白モノ家電もほぼ前年並みの水準。総売上では対前月比70%強程度に留まる。
 - ◇**中古自動車**…8月より兆しがあったが、9月オークションにおける出品台数は対前年比△14%と大きく下回った。しかし、成約率は6.6%高く、収益では前年を上回った。組合員の小売は依然、厳しい状況である。
 - ◇**石油**…ガソリン販売価格は前年同月比で11円上昇しているが、販売量は減少している。販売量を確保するため安値販売競争が激化し、組合員の経営状況は悪化。依然として厳しい状況が続いている。
 - ◇**ホテル旅館**…入れ込み数は昨年並み。やはり震災前まで戻ってこない。平日が特にひどい状況。耐震改修促進法の改正について理解はしているが、経営への負担は重い。自治体による助成金の額ははっきりしていない事も不安である。
 - ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車101.3%、軽自動車101.9%とともに増加。
 - ◇**総合建設**…好況業種と不況業種の明暗が分かっている。好況業種は大規模物件を扱う業種とその関連業者及び個人住宅関係。逆に公共事業関連の地方中小企業者は不況。公共工事はいまだに実勢

格と設計価格の差があり小規模工事では利益が出るに至っていない。大規模工事に職人が流れ小規模工事は職人を確保できない。職人問題は大きな課題となることは必至である。

- ◇**電気工事**…東京電力の影響をもちに受けていて、調査業務の収益は昨年と比べて30%も減少しており、先行きが不透明な状況である。
- ◇**県北地区運輸**…主要顧客の物量(荷動き)は総じて低調。その影響により売上高は減少している。それに加え、燃料価格が高止まり傾向にあり、収益を圧迫している。
- ◇**県央地区運輸**…前月に続き、家電・飲料水関係は動きが良かった。秋冬にかけての雑貨・衣類も動きが多くなった。部品(輸出)・住宅関連・引越は平年通り。取引はあるが、軽油の値上がりが続く、収益にはつながらない。

H25.9月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況		
		前年同月比		前年同月比		
食料品製造		▲	16.7		▲	50.0
その他製造		▲	15.0		▲	25.0
卸売業			50.0			0.0
小売業(商店街を含む)		▲	36.4		▲	36.4
サービス業			50.0			50.0
建設業		▲	75.0		▲	75.0
運輸業			0.0		▲	50.0
全体		▲	16.3		▲	30.6

【天気図の見方】 県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値



エコアクション21は、環境省が策定した中小企業にも取り組みやすい環境経営システムです。

特定非営利活動法人『環境NPOいばらき』とは、

エコアクション21

「エコアクション21審査人」の茨城県内の有志で法人登録したスペシャリスト集団です。

事業等

1. エコアクション21の認証取得支援活動、並びにエコアクション21の普及活動
 2. エコアクション21審査人として、認証取得を希望する企業の相談、並びにコンサルティング活動
 3. エコアクション21審査人の育成教育
- ※「エコアクション21地域事務局いばらき(茨城県中小企業団体中央会)」の運営委員会の中に会員が委嘱され、エコアクション21の普及に努めています。

特定非営利活動法人環境NPOいばらき

*連絡先:所在地:〒310-0836 水戸市元吉田町2649-21 代表者:飛田 秀幸
 TEL:029-247-4064 FAX:029-248-2958 / Email:BYA05445@nifty.com
 H P: http://kankyounpo-ibaraki.com/ 何なりとお気軽にご一報ください。お待ちしております。